

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	がんによる死亡数、死亡率の減少。							
指標名	全がん75歳未満年齢調整死亡率							指標の種類
指標式	国立がん研究センターの公表値							成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
目標a			85.5	83.6	81.7	79.8	77.9	76.0
実績b	87.4	データ等の出典						
東北	国立がん研究センターがん対策情報センター（平成30年度からの目標値は第3期秋田県がん対策推進計画の目標値を参考）							
全国	76.1							
把握する時期	当該年度中		月	翌年度	10月	翌々年度	月	

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度	
目標a									
実績b		データ等の出典							
東北									
全国									
把握する時期	当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月		

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 生活習慣病のうちでも特にがんは本県における死因の第1位となっており、死亡者数全体の約3割を占めている。がんの要因の約30%はたばこによるものとされており、喫煙・受動喫煙防止対策を強化する必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 がんは本県における死因の第1位になっており、がん対策に対する県民のニーズは高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
 がん対策基本法、秋田県がん対策推進条例に、がん予防対策を推進する旨の条文がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定